土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

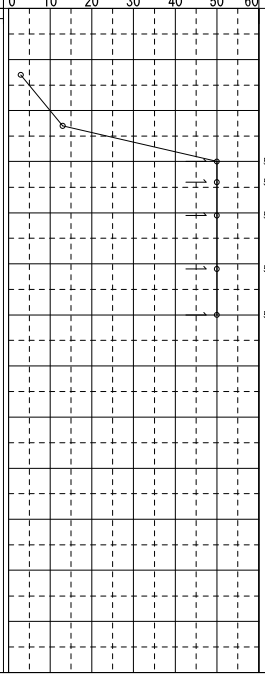
ボーリング名	BorNo.R3-BS-4	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内(住田谷川隣)			北緯	34° 21’ 01.1121″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和4年 3月19日～ 令和4年 3月23日	東経	132° 35’ 47.7216″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 262.85m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機: YBM　YSO-1HA型
総削孔長	8.00m								エンジン: ヤンマー　NFD-9型　ポンプ: YBM　GP-5型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	262.25	0.60		砂質土		暗灰			旧耕土及び盛土(人工改変土) ・最上位は草木根混じる暗褐の腐葉土 ・砂分は細-中粒砂、細粒分を伴いφ20mm程度以下の細-中礫及び鉱物片を含む
1	261.35	1.50		砂質土		暗灰	rd1		沖積堆積物 ・砂分は細-中粒砂、基質の含水比は中位-やや高く上位とは漸移的
2	260.25	2.60		玉石混り砂礫		黄褐	rd3		更新世後期崖錐堆積物 ・玉石は確認石長L=10-15cm程度が混入 ・礫はφ75mm程度以下の中-粗礫 ・礫間を充填する基質は細粒分を含む中-粗粒砂であり粒度不均一
3				花崗閃緑岩		灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・場所的な新鮮な未風化部をブロック状に挟む風化漸移帯 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は土砂部では岩芯を残す土柱状、未風化部では岩片-短柱状を呈す ・岩級区分はDH級(軟岩Ⅰ)に分級される
4									
5	257.65	5.20							
6				花崗閃緑岩		淡灰			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩 ・岩相不均質、岩質堅硬な花崗閃緑岩 ・採取試料は短-長柱状、不規則な節理が場所的に発達 ・節理周辺は褐色に酸化変色する ・コア肌はやや粗面-滑らかでハンマーの打撃では鈍い濁音-金属音を発する ・岩級区分は概ねではCM級(軟岩II)、長柱状を呈す堅硬部はCH級(中硬岩)に分級
7									
8	254.85	8.00							
9									
10									
11									
12									
13									

孔内水位／測定月日

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3/300		
	1.45						
13	2.15	4	4	5	13/300		
	2.45						
50以上	3.00	貫入不能			50	0	
50以上	3.30	17	33		50/200	200	
50以上	3.50						
	4.00	50			50/100	100	
50以上	4.10						
	5.05	50			50/100	100	
50以上	5.15						
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/19
				3/21